

第3回堺市社会教育委員会議 次第

日 時:令和2年2月10日(月) 午後1時から
場 所:フェニーチェ堺 M2階 小スタジオ C

1 開 会

2 案 件

(1) 行政からの報告について

(2) 今期の会議取組内容について

(3) フェニーチェ堺 施設見学 (約1時間程度)

※ (公財)文化振興財団職員がご案内します。

令和元年 12 月 17 日提供

問い合わせ先	
担当課	文化観光局 スポーツ部 スポーツ推進課
直通	072-228-7437
内線	4550、4552、4554
F A X	072-228-7454

東京 2020 オリンピック聖火リレー 堺市の通過ルートが決定しました！！

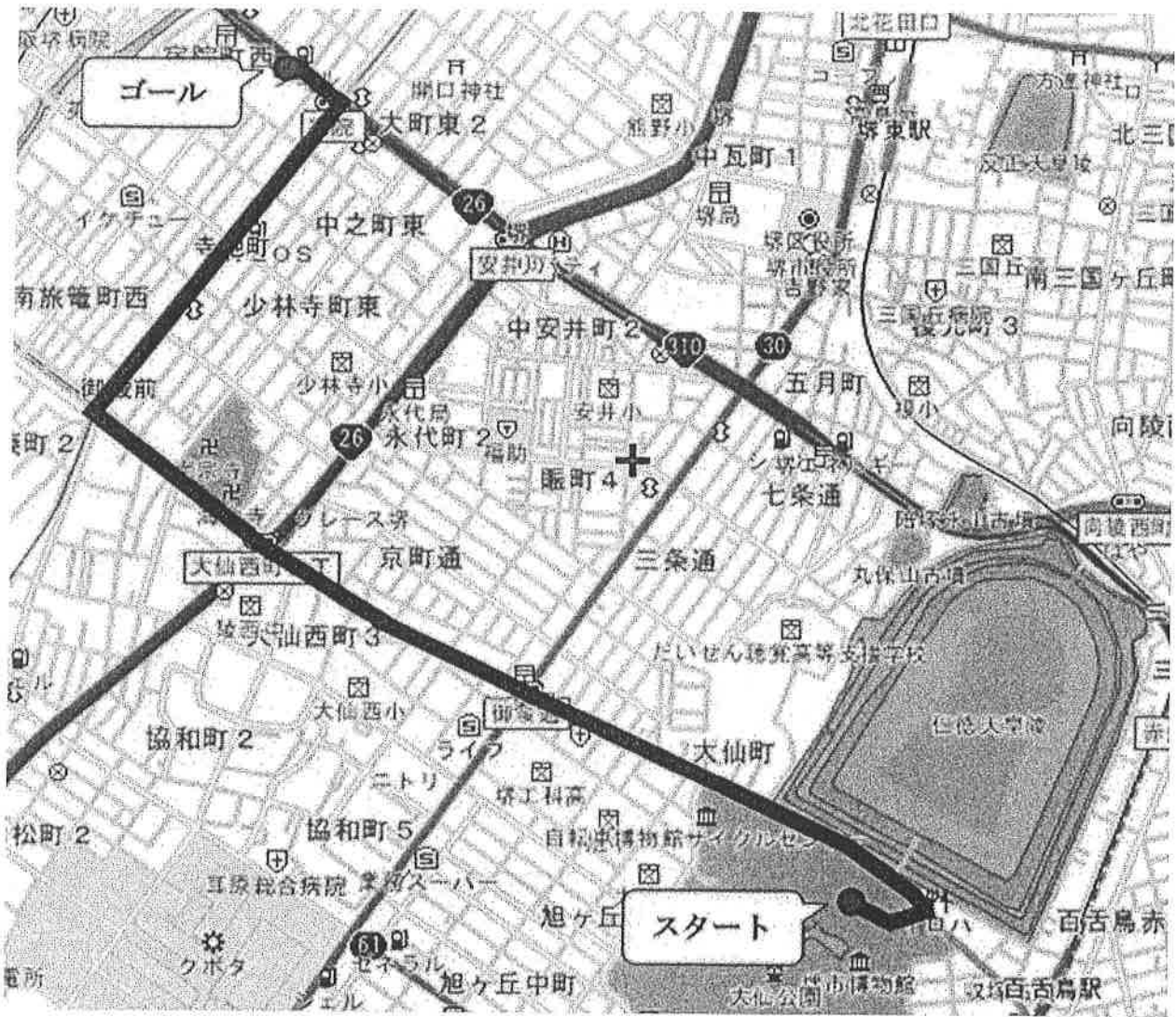
令和 2 年 4 月 14 日（火）に堺市で実施される東京 2020 オリンピック聖火リレーの通過ルートが東京 2020 オリンピック聖火リレー組織委員会より発表されましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、聖火リレー当日は、大規模な交通規制を実施します。交通規制の時間帯につきましては、できる限り早期に周知を図ってまいります。

記

1. 日程 令和 2 年 4 月 14 日（火）
2. ルート 出発式（セレモニー）を大仙公園いこいの広場で実施
↓
大仙公園いこいの広場を出発後、拝所前を通過
↓
大阪和泉泉南線（御陵通交差点）を横断
↓
第 2 阪和国道（大仙西町 2 丁交差点）横断
↓
大道筋（御陵前交差点）右折（大道筋を北上）
↓
阪堺線 寺地町停留場通過
↓
中央環状線（堺線宿院停留場）左折
↓
終点 さかい利晶の杜
合計約 3.3km
(ルート図は別紙のとおり)

【別紙】



堺市教育委員会では
企業・NPO・地域団体等による
地域への貢献活動

「CSR活動」を

募集しています！

地域に貢献したいと考える

企業
NPO法人
地域団体等
のみなさまへ

地域や学校の
教育活動を
支援したい。

自分たちの企業
(団体)の社会貢
献への取組を知っ
て貰いたい。

業界の現場を見て
もらうことで
情報発信したい。

自分たちの知識
やノウハウを伝
えて人材育成に
貢献したい。



企業・NPO法人・地域団体等が行う、CSR活動は貴重な教育資源です。
「企業による学びの応援プログラム」に登録していただき、
地域や学校園での学習の場に生かしませんか？

講師派遣

スポーツ

社会見学

体験活動

教材提供

「企業による学びの応援プログラム」はここがおススメ！

- ✓ 教育委員会が企業・NPO法人・地域団体のCSR活動を地域や学校園に広くお知らせし、橋渡しをします。
- ✓ 子どもから大人まで、さまざまな地域や学校現場との「つながり」ができます！
- ✓ プログラムの提供を通して、取組内容の発信ができ、企業等の知名度向上につながります。
- ✓ 地域との関係が Win-Win になることで、安心・信頼の構築や企業等価値の向上につながります。

企業による学びの応援プログラム

堺市教育委員会事務局 地域教育支援部 地域教育振興課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号(市役所高層館11階北側)
Tel 072-228-7490 Fax 072-228-7009
メールアドレス chikyoushin@city.sakai.lg.jp

本プログラムへのエントリーは
裏面の申込書をご利用ください！

 堺市教育委員会

令和2年4月より提供予定！プログラムへのエントリーをお待ちしています。

登録を希望する場合は、本登録申請書を以下に送付してください。(郵送・FAX)

地域教育振興課 Fax : 072-228-7009

年 月 日

企業による学びの応援プログラム 登録申請書

堺市教育委員会 教育長 殿

区分	1. 新規 2. 継続 3. 変更 4. 削除	管理番号	(記入不要)
企業・団体名			
住所	〒 _____	ご担当者名	
連絡先(電話)		部署・役職	
連絡先(電子メール)			
プログラム種別	1. 講師派遣 2. スポーツ 3. 社会見学 4. 体験活動 5. 教材提供		
対象	1. 子ども 2. 大人 3. 親子 <small>※原則、1プログラムにつき1枚でご提出をお願いいたします。同じプログラムでも、対象により提供内容の一部が異なる場合は、その旨ご記載ください。</small>		
プログラム提供内容	※パンフレット等内容が分かるものがございましたら、1部ご恵与ください。		
【申請をする前に必ずチェックしてください】			
<input type="checkbox"/> 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがある活動は登録できません。 <input type="checkbox"/> 提供するプログラムでは、営利、宗教若しくは政治に抵触する活動を行うことができません。 <input type="checkbox"/> 堺市暴力団排除条例に基づき、暴力団の利益となる活動に該当するおそれがある場合は、プログラムへの掲載はできません。 <input type="checkbox"/> 上記内容に抵触する行為が確認された場合、プログラムの登録を取りやめる場合があります。 <input type="checkbox"/> 地域貢献活動としての提供のため、恐れ入りますが、原則、原材料費や教材費を除く講師謝礼金や交通費等は無料にてプログラムのご提供をお願い申し上げます。 <input type="checkbox"/> 登録期間は、登録した日が属する年度の翌年度末までの最大2年間です。ただし、本事業の実施の範囲内を限度とします。登録期間中の追加、削除等変更は地域教育振興課へ変更内容の届出をお願いいたします。 <input type="checkbox"/> 掲載期間経過後、引き続きプログラムの提供を行う場合は再度申請をお願いいたします。 <input type="checkbox"/> プログラムへの掲載は、本登録申請書を地域教育振興課が受理後、プログラム提供企業等と登録する内容等について、相互調整の上、決定したものを登録させていただきます。			

令和元年度 大阪府社会教育研究会議 開催要項

1. 趣旨

府内の市町村社会教育委員をはじめ社会教育の関係者が一堂に会し、社会教育委員の職責及び社会教育の推進方策並びに社会教育行政の課題について研究協議を行うことにより、社会教育委員の資質の向上を図るとともに、大阪府の社会教育の振興に役立てることを目的とする。

2. 日時 令和2年2月21日(金) 14:00~17:00(受付:13:30~)

3. 会場 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂
【住所】大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 あべのベルタ3階

4. 対象 大阪府社会教育委員、市町村社会教育委員、社会教育関係職員

5. 内容

① 家庭教育支援に関わる取組報告(貝塚市)

② 【講演】「家庭教育支援について」(仮称)

【講師】 一般社団法人 日本プロカウンセリング協会 泉大津校代表
芦澤 万里子 氏

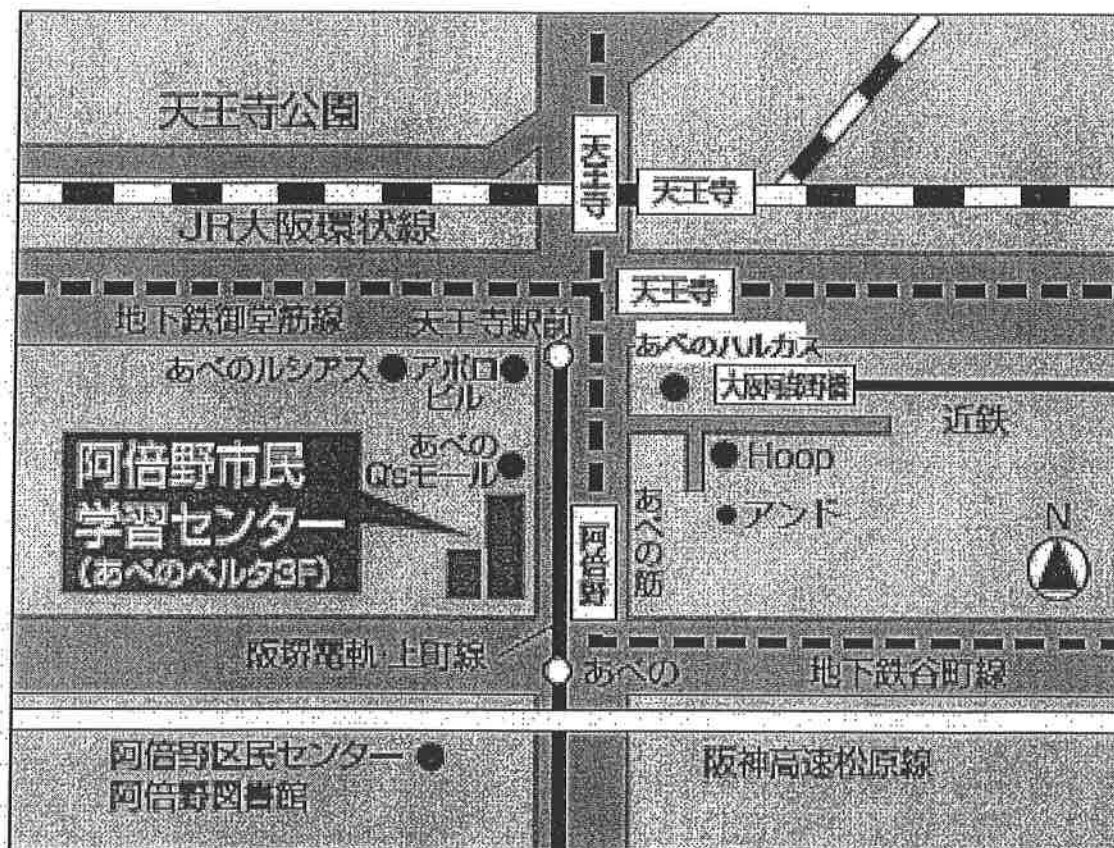
③ グループ協議

事例報告や講演を踏まえ、参加者が気づいた社会教育に関する課題や今後取り組みたいこと、各市町村の社会教育委員会議で取り組んでいること等について意見交換や情報交換を行う。

6. 時程

14:00	14:05	14:25	15:25	15:35	16:25	16:55	17:00
開会	取組報告	講演	休憩	グループ協議	グループ発表 まとめ	閉会 連絡	
5分	20分	60分	10分	50分	30分	5分	

大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂



所在地

大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 あべのベルタ3階

備考

OsakaMetro 谷町線：「阿倍野」駅 7号出口方面から、あべのベルタ
地下2階通路を通りエスカレーターで3階へ
OsakaMetro 御堂筋線：地下鉄御堂筋線「天王寺」駅より約600m
JR：「天王寺」駅より約600m
近鉄：「大阪阿部野橋」駅より約600m
阪堺電軌：「阿倍野」駅すぐ

アクセス

第 61 回全国社会教育研究大会 兵庫大会

令和元年度近畿地区社会教育研究大会、令和元年度兵庫県社会教育研究大会

開 催 要 項

1 大会スローガン

「学びと実践の収穫祭」 ごこく豊穡 in ひょうご

2 研究主題

多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践

3 趣 旨

人生 100 年時代を迎えようとしている今日、多様な人々の価値観を認め合い支え合いながら幸せに生きるとともに、一人一人が主体的に参画できる社会を実現するため、社会教育に対する期待は、ますます大きくなっています。こうした社会の中で、全ての人が生涯を通じて、共に学び、活躍する協働型社会の実現を目指し、地域の生涯学習支援を進めていくことが、今後の予測困難な時代を切り開く鍵になると考えます。

本県は、北は日本海に面し、南は瀬戸内海から淡路島を介して太平洋へと続く地形とともに、大都市から農山村、離島までを含む様々な地域で構成されています。その歴史は古く、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の旧五国から成り立っており、歴史や文化、気候、風土が異なるこれら五国が、豊かな自然の中でそれぞれの個性を発揮し、多様性を認め合い、連携・協働しながら歴史を積み重ね、昨年、県政 150 年という節目を迎えました。

その間、私たちは、阪神・淡路大震災からの創造的復興に取り組む中で、互いに助け合い感謝する心を再確認し、その経験と教訓を基に、安心・安全の基盤をより強固にすることができました。現在では、その経験を生かし、参画と協働による持続可能な自立した地域づくりへとステージを移しているところです。

本大会では、「学びと実践の収穫祭 ごこく豊穡 in ひょうご」のスローガンの下、「多様性」をキーワードに、それぞれの地域の特性や実態に応じた多様な考え方や取組に触れる中で、今後求められる社会教育の実践につながる実り多い大会にしたいと考えています。

4 主 催

一般社団法人全国社会教育委員連合、近畿地区社会教育委員連絡協議会、
兵庫県社会教育委員協議会、兵庫県教育委員会、
第 61 回全国社会教育研究大会兵庫大会実行委員会

5 期 日 令和元年 10 月 23 日（水）～25 日（金）

6 会 場 神戸ポートピアホテル・ポートピアホール
兵庫県神戸市中央区港島中町 6 丁目 10-1 TEL 078-302-1111

7 参加対象

都道府県・政令指定都市・市区町村社会教育委員及び社会教育関係者
生涯学習・社会教育に関心のある方 約 1,200 名

8 参 加 費 一人 5,000 円（参加資料代として）



9 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00~20:00	
第1日 10/23 (水)							全国社教連 理事会 15:00~16:30		全国社教連 事務局会議 17:00~18:00		
第2日 10/24 (木)		全国社教連総会 10:00~11:30		アトラク ション 12:15 ~ 12:45	開会行事 (表彰式) 12:50~13:40	記念講演 13:50~15:00	シンポジウム 15:10~16:40	開会行事		情報交換会	
第3日 10/25 (金)	受付	分科会 9:30~12:00									

10 大会内容

10月24日(木) 全体会 (受付 10:30~12:10)

【アトラクション】 12:15~12:45

兵庫県立高砂高等学校 ジャズバンド部

【開会行事】 12:50~13:40

開会挨拶、一般社団法人全国社会教育委員連合等表彰

【記念講演】 13:50~15:00

テーマ：「わかりあえないことから 一多文化共生を目指す演劇教育」

講師：劇作家・演出家・劇団青年団主宰 平田、オリザ 氏

【シンポジウム】 15:10~16:40

〈テーマ〉「時代潮流の変化の中で多様な地域特性を活かし、高め合う社会教育」

〈コーディネーター〉朴木 佳緒留 氏 (兵庫県社会教育委員、神戸大学名誉教授)

〈シンポジスト〉

今西 幸蔵 氏 (兵庫県社会教育委員、桃山学院教育大学 客員教授)

フローリア日詰 氏 (英語塾経営者)

波多江 みゆき 氏 (伊丹市社会教育委員)

御船 海 氏 (関西学院大学在学、ブレンヒューマニティ 副理事長)

駒井 まゆ 氏 (ブレンヒューマニティ職員)

10月25日(金) (受付 9:00~9:30)

〈分科会〉(9:30~12:00)

分科会	研究主題	発表府県
学校・地域の連携・協働	子どもたちの成長を支える学校・地域の連携協働の実践	滋賀県
子育て・家庭教育支援	地域がつなぐ子育て・家庭教育支援の推進	奈良県
地域づくり	人口減少時代に対応する魅力ある地域づくりの実現	京都府
高齢者の生涯学習	人生100年時代を踏まえた生涯学習の推進	大阪府
安心・安全なまちづくり	地域の暮らしを守る安心・安全な社会の構築	和歌山県
多文化共生	多様性を認め合い、多文化共生をめざす社会の実現	兵庫県

〈各分科会の概要〉

第1分科会 子どもたちの成長を支える学校・地域の連携協働の実践 (滋賀県)

◆発表テーマ「子どもたちの成長を支える学校・地域の連携協働の実践」

◆報告の要旨

地域と学校がつながり、ともに響きあう教育を目指して、学校支援からスタートした高島学園での地域学校協働活動の実践報告及び一層の活動を推進するための社会教育分野との連携の在り方

◆討議のポイント

・地域学校協働活動をどのように学校支援だけでなく社会教育による地域づくりに広げ、継続したものにしていくか。

・社会教育委員や関係団体とどのように連携を進めていくか。

◆問題提起者 滋賀県高島市地域学校協働活動推進員、中村 眞奈美 氏

滋賀県高島市社会教育委員 林 りつ子 氏

◆助言者 立命館大学経済学部経済学科 准教授 武井 哲郎 氏

第2分科会 地域がつなぐ子育て・家庭教育支援の推進（奈良県）

◆発表テーマ「世代間交流や地域間交流による子育て支援」

◆報告の要旨

「三世代パークゴルフ大会」や地域に伝わる「民話」・「方言」を活用した世代間交流、「祭り」や「海体験」による地域間交流を通して、より良い子育てや地域づくりを模索する実践報告

◆討議のポイント

・都市化や核家族化により、かつて行われていた地縁・血縁関係の中での子育て支援が弱体化し、地域の子ども会等も次第に減少していく中、子どもたちとのつながりをどのように作り、継続していくのか。

◆問題提起者 奈良県北葛城郡広陵町社会教育委員 岡田 誠治 氏

◆助言者 天理大学人間学部人間関係学科 准教授 杉山 晋平 氏

第3分科会 人口減少時代に対応する魅力ある地域づくりの実現（京都府）

◆発表テーマ「社会教育委員として実践活動から見えたもの」

◆報告の要旨

友好町福島県双葉町への支援から発展した交流事業や、地域学校協働本部事業との連携事業等を通じた、「人を思いやる心を育てる」生涯学習への波及に関する実践報告

◆討議のポイント

・社会教育委員の事業参画や実践による効果について
・「地域づくり」の基礎となる「人づくり」へどのように波及させていくか。

◆問題提起者 京都府船井郡京丹波町社会教育委員 副代表 澤井 安子 氏

◆助言者 京都府南丹教育局 総括社会教育主事 弓削 善裕 氏

第4分科会 人生100年時代を踏まえた生涯学習の推進（大阪府）

◆発表テーマ「人生100年時代を踏まえた生涯学習の推進」

◆報告の要旨

高齢者が充実した日々を送り、また地域の中に進んで参加し、自分の力を発揮するため、公民館事業の一つとして開設された「いきがい学級」において行われている多様な活動に関する実践報告

◆討議のポイント

・受講者の多様なニーズに応えるために公民館の職員はどのような工夫を行っているのか。また、どうすれば受講者は意欲的に活動できるのか。
・講座を継続する上での秘訣は何か。

◆問題提起者 大阪府藤井寺市教育委員会 公民館長 松宮 圭伺 氏

◆助言者 大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング学科 教授 萩原 雅也 氏

第5分科会 地域の暮らしを守る安心・安全な社会の構築（和歌山県）

◆発表テーマ「防災教育を通じた安心・安全なまちづくり」

◆報告の要旨

安政大地震の大津波から住民を守った故事「稲むらの火」。その教訓を継承する和歌山県広川町における防災教育と、その中心的役割を担っている「稲むらの火の館」での活動・取組の実践報告

◆討議のポイント

・地域の人たちの防災への関心をいかに高めていくかについて
・防災教育を進める上での社会教育委員の役割について

◆問題提起者 稲むらの火の館 館長 崎山 光一 氏

◆助言者 関西大学社会安全学部安全マネジメント科 准教授 近藤 誠司 氏

第6分科会 多様性を認め合い、多文化共生をめざす社会の実現（兵庫県）

◆発表テーマ「多文化で多彩なまちづくり・ひとづくり」

◆報告の要旨

阪神淡路大震災で被災した外国人への支援活動をきっかけに、地域社会と外国人コミュニティをつなぐ活動に取り組むなど、地域の多様な人々を巻き込んだまちづくり・ひとづくりの実践報告

◆討議のポイント

・言葉や文化の違う外国人と地域でどのように共生していけばよいか。
・多様な人々が社会に参画し、活躍できる基盤づくりに向けた社会教育委員の役割

◆問題提起者 ひょうごラテンコミュニティ代表、たかとりコミュニティセンター理事 大城 ロクサナ 氏

◆助言者 神戸親和女子大学文学部総合文化学科 教授 梶山 卓司 氏